

## 会 議 録

附属機関等の名称	宮代町国民健康保険運営協議会
会議の名称	令和6年第4回宮代町国民健康保険運営協議会
開催日時	令和6年10月17日(木)13時30分
開催場所	宮代町役場 202 会議室
出席委員の氏名	稲山会長、武井会長代理、田口委員、金子委員 為ヶ谷委員、関根委員、平山委員、井浦委員、鈴木委員 合計9名(定員12名)
出席職員の職・氏名	榎本課長、高橋主幹、稲宮専門員
会議の公開・非公開	公開
傍聴の可否	可(傍聴人なし)
会議資料の名称	宮代町国民健康保険税の税率等の見直しについて(答申)
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 録音テープ
審議の内容 (発言者・発言内容・決定事項等)	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 題</p> <p>(1) 審議事項</p> <p>国民健康保険税の税率等の見直しについて(答申)</p> <p>《事務局より資料に基づいて説明》</p> <p><b>【意見、質疑等】</b></p> <p>会 長 県の示す標準保険税率を適用することは、絶対的なものか。赤字解消との兼ね合いについて。</p> <p>事務局 県の示す標準保険税率は赤字を出さないための目安である。町国保の税率改正は、標準保険税率に合わせるためではなく、あくまでも、赤字解消のためである。</p> <p>委 員 毎年度、税率を見直すことが答申案に書かれているが、3~4年先を見据えた改正はできないのか。</p> <p>事務局 以前であれば、残余金の基金での運用も考えられたが、現在、税收不足による赤字補填分としての基金の運用はできなくなっている。県では令和12年度の県全体での税率の統一を目指している。若い被保険者の多い市町国保が、高齢化の進んだ市町国保を支えることになると思う。</p> <p>会 長 今後の税率見直しでは、諮問・答申の形で進めていくのか。</p> <p>事務局 各市町村により審議の形は異なるが、町では諮問・答申の形を続けていきたい。</p> <p>会 長 答申案にある努力者支援制度の状況について。</p> <p>事務局 令和4年度は県内順位61位で、令和5年度は県内順位37位と着実に順位を上げており、令和6年度は20番台になる見込</p>

みであり、更なる努力をしていきたい。

会 長 2答申内容(3) 出産基金関連の文章を一部段落で分けた方が、見やすいのではないか。修正をお願いしたい。

税率見直しの答申については、会長が町長に答申する形で進めさせていただきたいと思うが、どうか。正式な答申書については、答申後の写しを各委員の方に送っていただくということでお願いしたい。

委 員 全員了承

事務局 ご指摘のとおり文言を修正し、答申後に写しを送付する。

以上で審議終了

(2) その他

次期国保運営協議会委員の選考について

**【意見、質疑等】**

特になし